

**地域防災減災センター2020年度
信州における防災減災に関する支援プロジェクト
成果報告書**

(令和 3 年 4 月 2 6 日)

〔1〕 報告者情報			
フリガナ	ミズハラ トシヒロ		所属部局 職 名
研究者氏名 (代表者)	水原 俊博		
			人文学部 教授
研究プロジェクト名	生活者の防災・減災・被災に関する意識・実態調査		

〔2〕 研究概要・成果	
<p>※本制度を利用して実施した研究プロジェクトの概要と成果について、簡単に記述してください。 ※別紙として、パワーポイント等で作成した概要を示すポンチ絵又は写真等を添付してください (A4 サイズ、様式自由)</p> <p>本プロジェクトでは、地域防災減災センターと共同で以下のとおり大規模質問紙調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 調査名 自然災害の防災・減災・被災に関する意識・実態調査 ● 調査主体 信州大学地域防災減災センター，人文学部文化情報論分野 ● 調査法 委託先調査会社のモニタ会員を対象としたクローズド型 Web 調査 ● 調査委託 株式会社マクロミル ● 標本 320 件（男女各 160 人，年齢：M=44.71 歳, SD=13.92） ● 標本抽出法 割当法（有意抽出） ● 調査期間 2020/12/17～12/18 <p>標本の抽出は，20～60 代の年代 5 区分，性別，生活圏被災有無，つまり，5×2×2 の 20 カテゴリーについて，それぞれ 16 票を割当て，計 320 件を抽出し，データを収集した。</p> <p>調査の実務については，本プロジェクト代表者の他，本プロジェクトに参画した地域防災減災センター所属の神田助教の指導・サポートのもと，人文学部文化情報論・社会学コースの必修科目である文化情報論基礎実習Ⅱを受講する人文学部 2 年生が調査設計，データの集計・分析に取組み，その研究成果は 2021 年 2 月に Web 開催された第 9 回市民防災シンポジウム，文化情報論フォーラムで発表された。</p> <p>調査では，おもに地域愛着，災害伝承，地域コミュニティ，家族関係と災害不安・防災意識などとの関連について検討された。</p> <p>今後は，調査実務の指導にあたった代表者が調査データのより詳細な検討を継続しておこない，収集した調査データを有意義に活用したいと考えている。</p>	